



低速・小型自動走行ロボットに関する取組

2021.10

自動走行ロボットを活用した配送の実現に向けた官民協議会



Who Are We?



設立

2015年12月



累計資金調達額

175億円



役職員数

約200名 (2021.03)



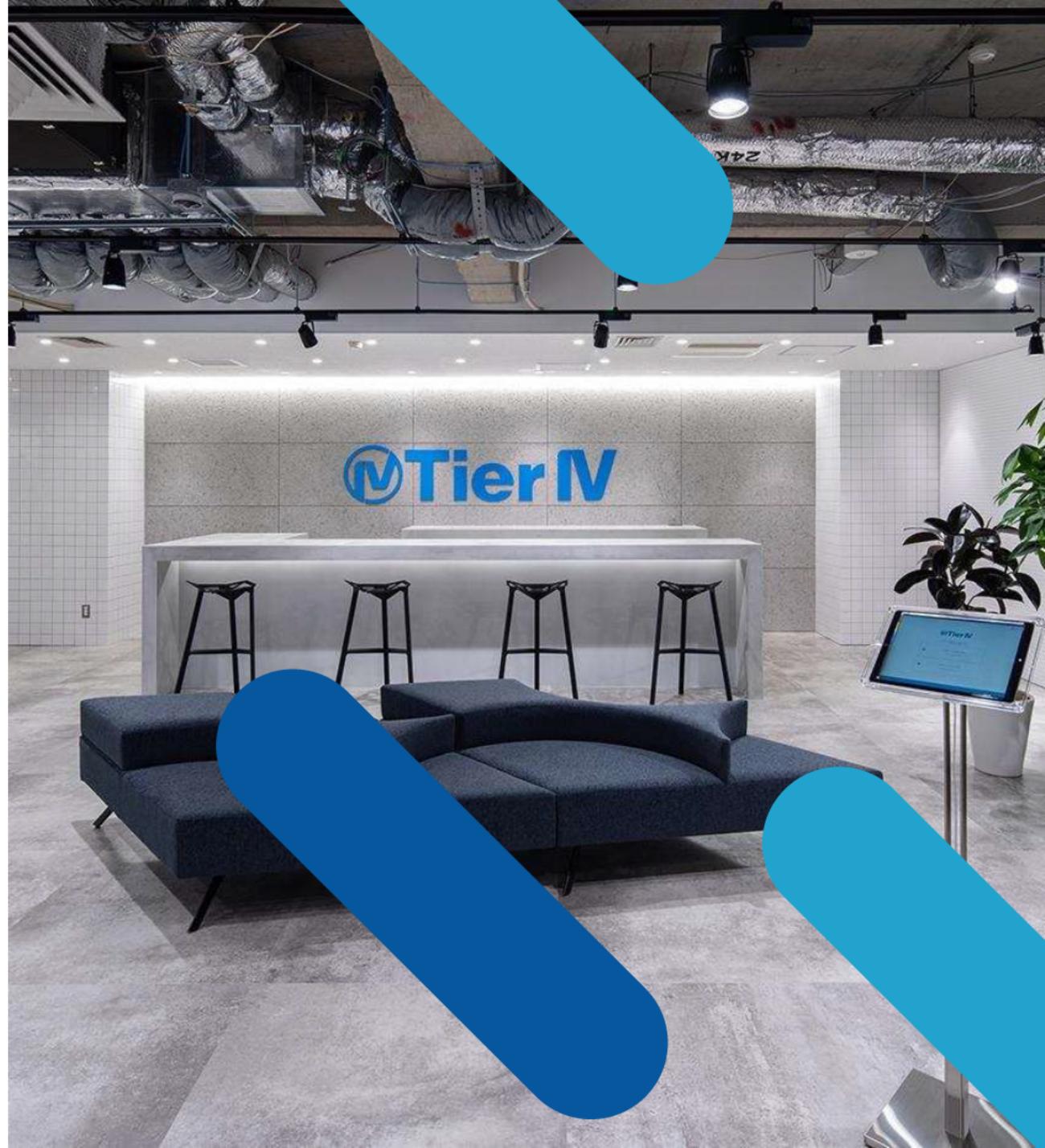
拠点

東京、名古屋、Palo Alto



事業概要

自動運転システムの開発及びプラットフォーム事業





Our Vision

自動運転の民主化

Intelligent Vehicles for Everyone

安全な自動運転に資するあらゆるテクノロジーを開放し、様々な組織、個人がその発展に貢献できる開放的なエコシステムを構築します。

そして、世界中の人々が価値ある時間と空間を享受できる社会を実現します。

The Autoware Foundation



ティアフォーは、世界初のオープンソース自動運転ソフトウェアAutowareの開発を主導

2018年12月、グローバル規模でのAutowareの開発加速・普及促進を目指す業界団体「The Autoware Foundation」の設立を主導



Logiee

Logieeは私道・公道を低速（6km/h以下）で走る小型自動走行ロボットのプロトタイプ車両。

電動車椅子をベースとしており、LiDARやカメラ等のセンサーを搭載。

Logieeの車体上部には物品を格納するためのスペースが用意しており、小型配送として使用することが可能。

複数都市の公道に於いて、自動配送ソリューションの実証実験を実施。



公道での低速・小型自動走行ロボットを活用した実証

実証地域

ティアフォーとしての実証ポイント、実証概要

岡山県玉野市

(実証主体：
三菱商事株式会社)

ティアフォーとして初の公道での低速・小型自動走行ロボットを活用した実証

- 2020年11月～12月に実施
- 近接型、遠隔型それぞれの自動走行を実施
- 複数力所で荷物を積み込み、複数力所へ配送を実施



茨城県筑西市

(実証主体：
三菱商事株式会社)

2台の低速・小型自動走行ロボットを運用した実証

- 2021年3月～4月に実施
- 1台が公道、1台が道の駅施設内を走行
- ティアフォーの車両管理システムと外部のルート最適化技術システム（オプティマインド社Loogia）をAPIで連携



福島県会津若松市

(実証主体：
TIS株式会社)

ティアフォーがトレーニング、認定した外部の監視・操作者による実証

- 2021年7月に実施
- ティアフォーで自動運転システム等に関する座学や小型自動走行ロボットを利用したトレーニングをアイサンテクノロジー株式会社に提供。ティアフォーで認定した同社の監視・操作者が車両を走行



2021年度は技術・サービスの検証等のため、複数の実証を予定

自動走行ロボットの早期実用化に向けたプラットフォーム提供

自動運転システムの
リファレンスデザイン
(ソフトウェア、センサー構成
など)



開発や運行に必要なツール
(車両管理、遠隔監視・操作システム、
シミュレータなど)



トレーニング、実証実施支援



「Intelligent vehicles for everyone」のビジョンの元、
自動走行ロボットの開発や運用、実装に必要なプラットフォームを提供することで、
オープンなエコシステムの構築を通じた
自動走行ロボットの早期実用化に貢献していきます

